

セルロースと石墨の原子模型作り

2015. 8. 25 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

7月27日～29日に東京都王子の北とぴあで「2015仮説実験授業夏の全国研究会 東京大会」が行われました。ナイターでセルロースと石墨の原子模型を作ったときのようすをお知らせします。



● 1日目はセルロースの分子模型作り

セルロースの分子模型作りには9人の方が参加してくれました。

セルロースは部品をある程度正確に切らないとうまく組み立てられません。最近、分子模型を作ってもらって悩むのは、高齢者の方が分子模型を作る時のケアです。ボクの資料だけだと、切る面の番号を間違えたり、書かなかったり、角度が正確に切れていなかったりと色々な問題が出てきます。正男さんならヒョイヒョイと手伝って完成させてあげられるのに、ボクだと完成させてあげられないことが多いのです。結局、今回も途中で帰った方がいて、申し訳なかったなと反省していました。

北とぴあは公共施設ですから、10時には完全に閉館します。スタッフさん方も真剣で、分子模型部屋は早々にマークされました。

結局、10時まででは誰も完成できませんでした。ブドウ糖をつなげて、まわりの部品を切って、窓側に作りかけを置いて、10時に退館しました。

● 2日目石墨の結晶模型作り

2日目は石墨と聞いていましたが、まだセルロースが完成していない人や、2日目からセルロースを作りに来てくれた人もいて、1日目の続きになりました。2日目は9名の方々が作ってくれました。

今回もわがままを言って、翌日の3日目に分科会をずらしてもらい、この部屋を空けてもらいました。おかげで、片付けずにこのまま退館することができました。



● 3日目は分子模型モーニング

3日目はセルロースや石墨の完成を目指しました。この日も参加者は9名で、11時を過ぎても、まだ作り続けていました。でも、スタッフさん達が片付けを始めたので、あきらめ、分子模型モーニングは終了したのです。

ボクが作った石墨の結晶模型は板倉賞を受賞した大黒さんにプレゼント。《自由電子が見えたなら》をやっつね、美和さん。

